

2019年度 経済学部海外教育プログラム 参加者アンケート

プログラム：アブダビ石油株式会社インターンシップ

2019年度参加者数：5名

＜内訳＞ 経済学科 3回生…5名（経済専攻：1名、 国際専攻：4名）
男性 4名、女性 1名

- ※ 複数回答可の項目有り
- ※ 回答漏れ有り
- ※ < >内の数字は回答数

1. 応募まで

1) 募集説明会に参加しましたか はい <5> いいえ <0>

2) 本プログラムへの応募動機は何ですか

派遣国	<5>	学習言語	<2>	プログラム内容	<4>
参加費用	<3>	実施時期・期間	<1>	体験談・口コミ	<0>
その他	<0>				

2. 事前学習

1) 事前に学習しておいて役立ったこと

- UAE の文化・宗教・食べ物などについて、派遣先の会社概要、派遣先会社が取り組まれている活動について、エネルギー問題や関連する企業や物・事業など幅広く学習して行くと、現地でも理解がしやすかった
- 英語、文化、企業情報
- イスラム圏においては宗教的な制約が非常に厳しいため、具体的にどのような規律があるのかを知っていたことは現地に行き役に立ったと思う
- 英語のリスニングとスピーキング。基本的に日本人と話していたことが多かったが、ローカルの従業員の方とも接する機会があったので役に立った。現地の人は癖のある英語を話すことが多くしかも速いので、リスニングは練習しておいたほうが良い。
- 石油掘削のプロセス全体や技術に関して日本語と英語で調べておいたので、現地の研修の際に教えてくださったことが頭に残りやすかった
- 文系である自分は知識がなかったので、事前に化学の勉強を少しだけした。原油が最終的にどのような商品になるか調べると、想像以上に身近な資源だと実感し、学生には馴染みのない研修内容であった時もこれがモチベーションを高める材料になったと思う。

2) 事前に学習しておけばよかったと思うこと

- 幅広く学習していたつもりだったが、業界が大規模であればあるほど様々な業界との繋がりも多くなるので、より深く調べて行く方がもっと良かったのと、英語をもう少し勉強してから行くべきだった。
- 現地情報、観光関係、禁止事項
- 学習というよりは習慣づけておく必要があると感じたことはコミュニケーション能力。当プログラムに関わらず、世界では英語が話せるということよりも意思疎通を図ろうとする積極性が求められる。話しかけられた時に沈まないよう習慣づける必要があると思う。
- 石油業界についての知識、中東地域の文化や背景、派遣先の企業の細かな事業内容。中東という少し特殊な地域であらゆる部分で政府や宗教が関わっており、しかも石油採掘のことについてもかなり専門的なところまで教えてくれるので、少しは予習するべきだった。
- アブダビ石油株式会社のそれぞれの部門の方からお話を聞く機会があったので、職種の違いなどを勉強して

おけばさらに踏み込んだ質問ができたと思う。また他の企業への訪問も多かったので、石油業界の上流・中流・下流の企業やアブダビ石油株式会社に関連する国営会社、また鉄鋼産業などを詳しく下調べをしておけばもっと様々な事を吸収できたと思う。以上の事とはまた別に、UAE の文化についてもしっかり調べておけば現地の風土に馴染めたのではないかと少し後悔している。

3. 研修中について

1) 特に興味深かった経験

- ・ 1つの会社が食品や石油など様々な部門に展開していることや、石油に関連する企業様に行かせて頂き、それら1つ1つが繋がっていると実感した時に、会社の成り立ちやお互いが補い合うという関係性など、さらに事業内容など興味が湧いた
- ・ SUMMIT 訪問、GM邸への訪問、砂漠観光
- ・ アブダビ石油だけでなくアブダビ石油関連企業にも訪問することができ、知見が格段に広がったと思う
- ・ 倉庫の見学が興味深かった。石油の掘削現場は規制が多く見学できなかったが、倉庫を実際に見学させて頂くことでどういう風に掘削し、石油を運んでいるのかがはっきりと分かった。
- ・ 掘削機材などを保管している業務部の倉庫を見学し、実際に使っているパイプや掘削装置を見れたことがとても印象に残っている。また JFE やその他の会社の出資によって設立したばかりのパイプ工場を訪問したことも新たな体験の一つだった。在アラブ首長国連邦日本大使館を訪れた際に中島大使から今後の将来の役に立つお話が聞けたり、中堅社員や若手社員とのお食事会などで交流できたことも良い経験だったと思う。

2) 特に興味深かった（ ）

- ・ 【食べ物】研修先の ADOC 内にある食堂で毎日お昼ご飯を食べさせて頂いた。そこでは日本食を食べることができ、1日目から鯖の塩焼きが出てきた時には驚いた。またアブダビの伝統料理はなかなかなく、周辺の中東の国の料理を食べれたこともとても貴重な瞬間だった。
- ・ 工場見学、大使館、SUMMIT
- ・ 【行程】石油業界に詳しくなることはもちろんだが、それ以外の業界に興味がある人にもオススメ。食品業界や鉄鋼・プラント・航空など多岐に渡る業界の社会人にもお会いできた。広く知ることができる点も良いと思った。
- ・ 【他社訪問】今回私たちは研修先のアブダビ石油さんだけでなく、中東で事業展開している他の企業も訪問させて頂き、そこで資材を現地調達できなかったり、その国の規制に従わなければいけなかったりなど、海外事業を続けていく難しさを知ることができた

3) 行程、移手段について

- ・ 行程に関しては現地で新年を迎えるタイミングと重なったこともありイレギュラーな部分もちろんあったが、全て1つ1つの内容が濃く貴重だったのでとても良かった。移動に関しても問題なく何かあっても臨機応変だったように感じる。
- ・ 基本車移動で、ハードスケジュールだった
- ・ プレゼンについては初日から考えたほうが良い
- ・ 基本的に毎日移動があるため、移動に疲れる人は社会に出るとこれぐらいは当たり前だという気持ちでいれば良いと思う。ハードではあったがその分非常に実りある有意義な時間を過ごすことができた。
- ・ 直前に最終日がイスラムの新年になると知らされ、その日が祝日になるので、その日の分の予定が全部繰り上がってしまい、かなり忙しかった。移手段はアブダビ石油が社用車を出して下さった。
- ・ イスラム新年の影響もあって前半5日は研修、後3日が休日となった。移動は研修中・休日共にアブダビ石油株式会社の現地社員の方が車を運転してくださった。

4) 現地での交流について

- ・ 現地では ADOC と BUNDUQ 様のナショナルの社員の方と交流させて頂いた。国民の方とは文化についてはもちろん、知りたかった宗教のこと、その暮らし方などかなり踏み込んだ話が出来て、最終日にも挨拶に伺ってお話しさせてもらえて貴重な時間を過ごせた。
- ・ ローカル社員はみんな気さく
- ・ 現地料理を食べることは仲良くなれるチャンス
- ・ 現地の方も日本への関心がある
- ・ 現地の方は非常にフレンドリーで親切。日本人以上にその部分を感じた。積極的に話しかけてくれるので、こちらからコミュニケーションを取る場合も気さくにできたのでとても居心地が良かった。
- ・ 日本人社員だけでなく、ローカル社員とも交流する機会があった。日本人社員の方とは夜ご飯を一緒に食べることもあり、色々なお話ができてとても良い経験になった。

4. 現地の環境

1) 食事

- ・ 朝食はホテルで食べ、昼食は基本的に社内のメスで食べた。メスでは日本食が出てとても美味しかった。夕食はみんなで食べに行くことが多かったが、様々な国の料理を食べられてどれも日本人の味覚に合っていて美味しかった。
- ・ おいしい日本食だったし現地料理も美味しかった。また手頃な値段だった。
- ・ 基本的に日本食を食べることができる。またインドやカタルからの移民が多いため、インド料理店やカタル料理店は多い。逆に現地のアプダビ料理というものはほとんど目にしなかった。いずれも味や質は私自身に合っていて美味しかった。
- ・ 朝ごはんはホテルのビュッフェ、昼ごはんは会社内の社員食堂で日本食、夜ご飯は各自自由に食べるという感じだった。2日ほど社員の方との交流会が夜にありお酒も飲めた。

2) 気候

- ・ 日本とは比にならない暑さで、滞在中特に気になることはなかったが、唯一挙げるとすれば暑さだと思う。夜になれば涼しくなるわけではなく、朝から夜までムシムシとしていて特にお昼は外を歩けないくらい暑かった印象。
- ・ 室内は冷房が強いため羽織るものが必要
- ・ 夏なので 45℃ほどあり、日本より 10℃ほど高い。湿度が高い時はより高温に感じる。体感として 50℃程。非常に暑いので熱中症対策はした方が良い。
- ・ 期間中はとにかく暑い。砂漠が近くにある影響からか遠くの方は霞んでいてよく見えない。日差しも強いので熱中症に注意が必要。

3) その他コメント、次年度参加者へのアドバイス等

- ・ 1 つだけあるとすればやはり暑さ。1 歩外に出ると本当にどっと暑さがやってくるが、室内に入ればクーラーが効いていて寒くなる。体調管理がすごく難しいので日本にいる時から暑熱順化するか、調節できる衣服をしっかりと考えて持って行くことをお勧めする。
- ・ 現金はかなり必要
- ・ 洗濯はお金をかければホテルがやってくれる
- ・ 室内は冷房が効き過ぎていて寒く感じる人も多いと思うので、長袖の羽織るものを一枚持つ必要はある
- ・ 色々な国の料理が楽しめるので是非挑戦してもらいたい。個人的にはアラブ料理、トルコ料理がお気に入り。

5. プログラム参加前後の変化

1) 身についたこと

- ・ 英語でプレゼンテーションをする際にどうやったら相手に伝わるかを自分の個性を出して伝える方法や、海外の会社がどのように成り立っていて様々な部門があること、その1つ1つが繋がっていること、異文化を知り受け入れることを学ぶことができた
- ・ 英語力、文化の理解、計画力、物の見方
- ・ あまりにも多いので全部は言えないが、海外で働くということはどういうことなのか、ということがアブダビ石油とその関連企業を訪問することで身につけることができた。この他のプログラムと一線を画す点であると確信している。
- ・ 海外で働くということは、その地域の人々から信頼されなければならないということに気づかされた。また、日本にいる時とは訳が違い、対応しなければならない事が多すぎるので、現地の人々だけでなく他の企業とも協力していかないと海外事業は上手くいかないということに気づいた。そういった心構えだけでなく石油事業の知識もしっかり身につけても良かった。

2) UAE・アブダビへの理解

- ・ 中東と聞いて「危険」「テロ」といったネガティブなイメージを持っている日本人は多いと思う。確かに未だ危険な国は実際にあるが中東と一括りにするのはすごく危険な考え方だと思うし、アバヤなどを着ているのも聞いてみると意外な理由からだと知り、日本にはない文化があり面白くて素敵な国だなと感じた。
- ・ 思ったより悪くなかった
- ・ やはりお金持ちが多い
- ・ 日本より発展している面が多々あった
- ・ 最も理解が深まったのは、アブダビを含めた UAE は多民族共生社会であるということ。UAE のナショナルは、人口約 1000 万人の内、10%ほど。多くの国の人々が共生していることで UAE に住む人々のホスピタリティが非常に高いと感じた。
- ・ 行く前までは中東諸国のイメージは悪かったが、UAE は日本と同じくらい安全な国で驚いた。ただ宗教の規律が厳しいことや政府の民間企業への介入があることを目の当たりにし、外国人の立場が UAE では厳しいものがあると実感した。

3) その他

- ・ 海外企業の働き方を知ることが出来たり、日本との違いはもちろんだが宗教や暮らし、文化や食べ物についても行く前よりも深く知ることができた。また ADOC が様々な役職から成り立っていること、様々な企業がある中で全てが繋がっていることを知れたのも大きな変化。
- ・ 事前準備はしっかりしましょう
- ・ 気候と時差の影響があるので体調は整えて
- ・ 本当に良いプログラムなので是非参加してください
- ・ 社会人（UAE の人も含む）との関わりが増え、コンタクトを取ることも許されているので今後の繋がりにも有効になると思う

6. 費用・持ち物・その他

1) 費用について

①今回のプログラム費以外に現地で使った金額：

日本円 約2万円相当 <1> 3~3.5万円相当 <2> 5万円相当 <1>

②持参した金額

日本円 約2.5~3万円相当 <2> 4万円相当 <1> 5万円相当 <1>

→ 十分だった <3> 足りなかった <1>

③お金はどうやって持参しましたか（複数回答可）

日本円現金 <3> クレジットカード <4>

現地通貨現金 <3> 国際キャッシュカード <0>

④お金・両替・現地通貨について

- ・ お金は直前に空港で変えようとする取扱いがない店舗もあり、私も伊丹空港では変えられず成田空港で両替することになったので、早めに準備しておくことをお勧めしたい。現地通貨の使い方も分からなくて聞くと現地の方が教えてくれたりしたので問題なかった。
- ・ ホテルはレートが悪いので両替は空港で
- ・ 現金は結構必要
- ・ 日本の空港もディルハムの取扱いは少ないので事前換金がお勧め
- ・ ①換金は日本でやるか現地の空港ならレートが良い。それ以外の場所はレートが悪い。また日本で換金する場合も予約が必要な場合がある。UAE ディルハムは日本の換金所には常備されていない場合がある。私は500 ディルハム（16,000 円ほど）換金してその他はクレジットカードで済ませた。
- ・ ②クレジットカードはタクシー以外では基本的に使える。ただ、他の国でもそうだが VISA や Master の方が良い。JCB は使えないところがかかなりある。
- ・ ③何かあった時に使えるので日本円も常備しておいた方が良い。
- ・ 思いの外、現金を使うことが多かった。多めに持って行っておくのが無難。クレジットカードを使う場合は、必ず PIN コードを入力しないとイケないので、IC チップ付きのカードを用意する必要がある。

2) 持ち物について

①持って行ったほうが良いもの

- ・ 暑さ対策として手持ち扇風機や冷感スプレーなどを持って行くことと、日焼け対策として UV カット機能のついた羽織りがあると冷房対策と日差し対策を同時にできて良いなと思った
- ・ サングラス、日焼け止め
- ・ ウェットティッシュ（おしぼり文化がないし、他の用途にも使えるので便利）
- ・ 現金
- ・ ミニバッグ
- ・ コンセントの変換プラグ（UK タイプのもの）
- ・ 歯ブラシ

②持って行かなくても良いもの

- ・ 調べた時に海外ではトイレトペーパーを流せないところも結構あったりして、心配で水に流せるティッシュを念のために持って行ったが、国にもよるがアブダビは必要なかった。
- ・ 洗濯道具
- ・ 目覚まし時計
- ・ 辞書
- ・ ホテルのサイトなどを見てホテルにあるものは持っていかなくても良い。近くにスーパーマーケットもあり、日用品もあるので調達もできる
- ・ ドライヤー、バスタオル、汗拭きシート

3) 治安等、注意すべき点

- ・ アブダビに関しては本当に安全で日本よりもむしろ治安が良いのでは無いかなと思うくらい良かった。なので心配なことは特にはないが、海外なので念には念を貴重品の管理や、持っていくカバンにチャックがあるものを選んだりして気をつけた。
- ・ 女性への接し方
- ・ 宗教批判
- ・ 治安は非常に良い。ただ車がすごいスピードで走っているため横断歩道を渡る際は注意してください。
- ・ 宗教上のルールが厳しいので夜に酔っ払ったり、気軽にイスラム教の女性に話しかけるのは良くないこととされるので注意が必要。

4) その他次年度参加者へのアドバイス

- ・ とても素敵な国で素敵なプログラムなので、たくさん予習をして行けばいくほど現地での理解がより深くなって、さらに探究心が湧くと思います
- ・ 思わぬ出会いがあるのでしっかりと予習はしましょう
- ・ 周囲の迷惑になることは避けましょう
- ・ 参加費の何十倍も価値のあるプログラム。ぜひ参加してください！
- ・ このプログラムには参加すべき。日本人問わず現地の社会人と交流する機会が非常に多く、将来への知見が格段に広がる。かなりハードではあると思うが、やり遂げた後、身につけているものが非常に多い。
- ・ とにかく滅多にない機会なので質問できるときにたくさん質問してください。普段会えないような社長や日本大使とも面談することがあるので、頑張ってください。